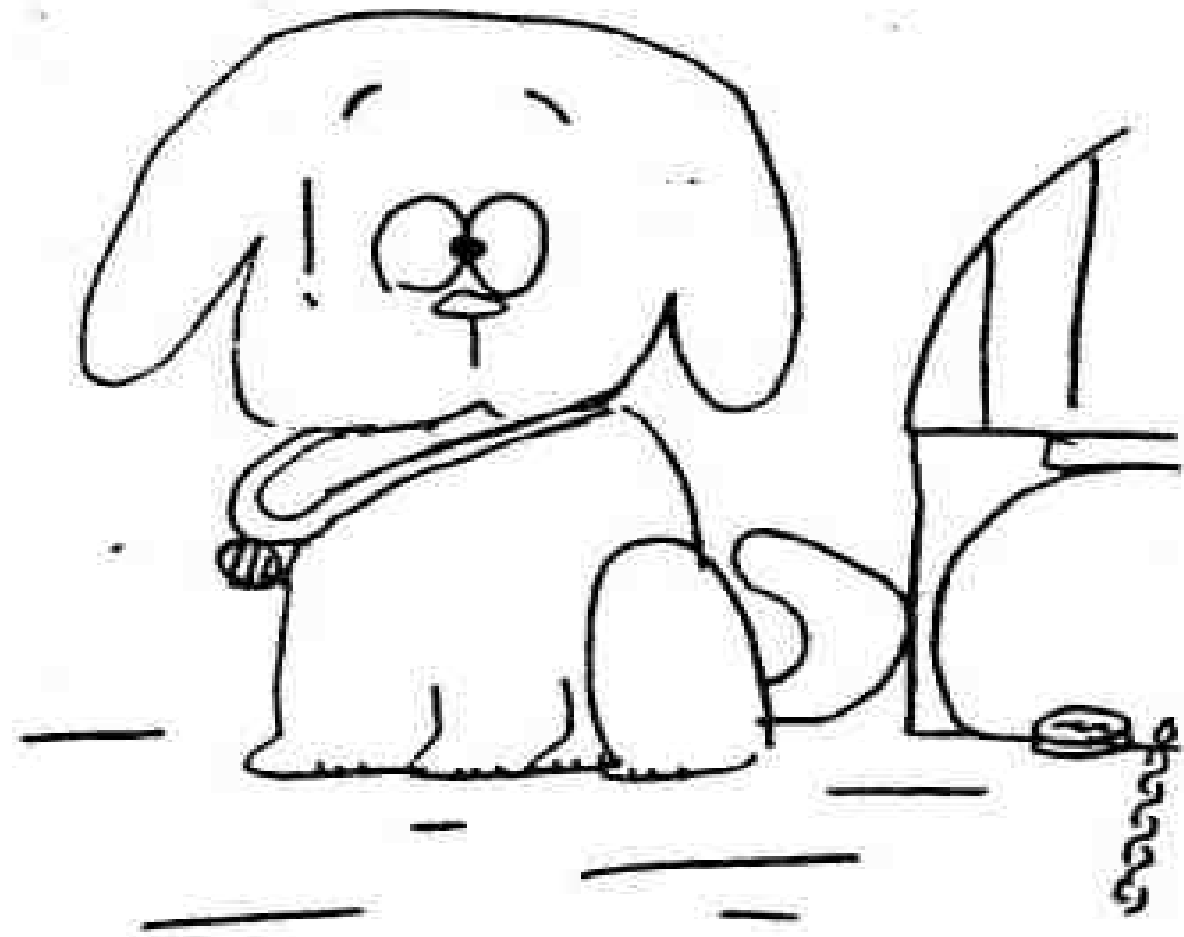


木下川の子ども



1 9 5 7 年 度

~

2 0 0 2 年 度

1年

一九五七（昭和32）年度

日曜日のこと

おひるからゆうがたまでねました。とてもよくねむれました。ぼくはゆめをみました。おばけのかみしばいがはじまりました。ゆめをみました。ゆめをみました。ぼくはとってもこわかったです。それでぼくはおかあさんのところへいきました。ぼくはおかあさんのふとんの中はいりました。とてもあたたかかったです。ぼくはおかあさんがすきです。

おきてからこくごをよんでいるとおかあさんがおやつをもってきてくれました。

一九五八（昭和33）年度

うちの人たち

ぼくんちのおかあさんはなかなかおこることもありますがやさしいときはうんとやさしいんです。うちのおねえさんもおんなじです。おとうさんがおさけをのむとお

かあさんとけんかしたりします。おにいさん
も　ういすきいをのむとだめなんです　おに
いさんが　あんまり　おさけを　のみすぎて
えいがかんの　ばいてんのがらすをわっち
やっつて　せんえんの　がらすを　はめたので
すが　だめなんです。

一九五九（昭和34）年度

つうしんぼ

「○○○、つうしんぼなんで五じやない
の。」っておこられたから、おしいれにはいっ
てみていると、そしておしりをむけていると、
おしりをぶたれました。そしてぼくはそとへ
にげました。とぶでとまって、とぶをわたり
ました。それから、れこちゃんのいえにはい
りましたがおこられなかつたのでよかつたと
おもいました。



一九六〇（昭和35）年度

おとうさんのこと

わたしのおとうさんはたたみやをしてい
ます。けれどもおとうさんはいつもおそくかえ
ります。またうちのひでおにいちゃんもおそ
くかえります。おとうさんがかえって、おに
いさんはまだかえらないのかとききました。
そのときうちのおにいちゃんがかえってきま
した。おとうさんが、どこをうすうすあるい
ていたんだとわかりました。わたしはかわい
そうだと思いました。おとうさんやめてとい
うと、おとうさんもおにいさんもわらいまし
た。

一九六一（昭和36）年度

おてっだい

わたしのおかあさんは、あたまがいたかつ
た。おかあさんが「おこめやおちゃわんをあ
らって。」といった。わたしはおててがつめ
たいけど、おかあさんがあたまがいたいから

わたしが　さいしよにおこめをあらいました。
それから　おちゃわんをあらった。おちゃわ
んをあらったら　おててがつめたかった。で
も、わたしはがまんをして　おもてにあそび
にいった。

一九六二（昭和37）年度

「かさこじぞう」のおはなしをきいて
おじいさんは、ころのやさしいひとです。
だから、おじぞうさんに、かさをかぶせてあ
げたのです。それでなかったら、かさをかぶ
せてあげません。だから、おじいさんはここ
ろのやさしいひとです。

一九六三（昭和38）年度

おかあさん

おかあさんはわたしがっこうからかえつ
てくるといつも「べんきようをしなさい」と
いいます。だからわたしはまいにちしていま
す。そしてべんきようが、おわるとそとへあ

そびにいけます。そのあいだいつもいそがし
そうにおそうじをしたりぬいものをしたりお
せんたくをしたりしてくれませう。わたしはだ
からおつかいのおてつだいをします。ゆうが
たになるとゆうごはんのしたくをしてくれま
す。おふとんをしいてくれてねるのもおそく
ておかあさんはまいにちいそがしそうにはた
らいています。

町工場の仕事

一九六四（昭和39）年度

おとうさんは、ずっとまえに、きね川しよ
うがっこうを出ました。おとうさんは、おお
きくなつてから、かわのしごとをしてきまし
た。

おとうさんは、まいにちかわのしごとをし
て、おかんじょうをもらってきました。
その日は、ケーキをかってくれました。わ
たしはよろこんでたべました。

一九六五（昭和40）年度

せんせい、めがねをとるとさるにみえる。

せんせい、めがねをはめるとテレビにでる

コンちゃんみたい。

せんせいも、ぼくも、まるがおににてるね。

せんせい、おこるとわらっているみたい

だな。

せんせい、なんだかはなが大きいね

一九六六（昭和41）年度

ゆき

けさおきてみたらゆきがふっていました。

わたしは、はやくようふくをきてごはんをた

べました。そしてにわにでていつものえみ

ことゆきがつせんをしました。にわは、いち

めんのゆきでした。わたしが、ゆきをなげる

と、いもうとは、かけてうちの中ににげてい

きました。わたしが、ゆきを手にもっておい

かけていくと、おかあさんがでてきて「えみ

こはもうようちえんだからやめなさい。」とい
いました。おかあさんがうしろをむいていた
ときゆきをせなかにぶっつけました。そうし
たらおかあさんがわたしのかおにゆきをなげ
ました。

一九六七（昭和42）年度

おつかい

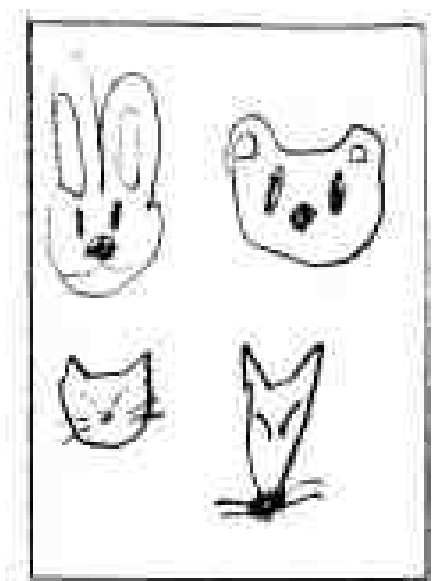
わたしは、日曜日、おかあさんと、ひき
ふねのいとうようかどうへ、おつかいに、い
きました。さかなを、ひやくえんかいました。
それから、ういんなあとこんびいふもかい、
おやつのおかあさんかしたあんまんもかいました。
そして、おかあさんを、はらうところにいきました。
た。おかあさんをけいさんするふとったおねえさ
んが、がちゃがちゃと、きかいみたいのをう
ごかして「にひやくはちじゅうえんです。」と、
いいました。おかあさんは、あまりふとつて
いないがまぐちから、にひやくはちじゅうえ
んをだして、はらいました。かったものは、

すこしだけど、おつかいは、ながいじかん、
かかったなあとおもいました。

一九六八（昭和43）年度

もしゆきがふったら

ぼくは、ゆきで十一だんしきの、ぜったい
こわれないかまくらに、かいだんをつくって、
二だんめのところに大きなかがみもちをおく。
三だんめのところは、あそびば。四だんめの
ところがこうえん。五だんめのところにスキ
ーじょうとゆきの山。六だんめはゆきあそび。
七だんめのところにぶんぼうぐてん。八だん
のところは、えを
かざるところ。十だんめに、ゆきだるまのた
いかい。一だんめにおいおいをするところ。
十一だんめがゆうえん
ち、ゆうえんちにはこ
おりのすべりだい、の
れるうまが十一とう。



一九六九（昭和44）年度

ねことおかあさん

おやねこがあかちゃんをうみました。そしておかあさんがせわをしました。わたしもかわいがってやりました。それから、ねこの子どもはだんだん大きくなってしようじの上のぼってあそんだりしました。わたしはねるとねこがまい日ねどこにきます。すこしたってねこがいえでをしました。ねこは十日ぐらいかえらなかつたのに、いつものまにどこからかえってきました。

一九七〇（昭和45）年度

金ぎよ

学校の金ぎよは、

二学きのはじまりにぼくがもってきた。もってきて、三日目に三びきしんだ。水をとりかえすぎたのかもしれない。また、すこしして、一びきしんでしまった。だから、いまは四ひきになってしまった。

水かえは先生がしている。
しんだらかわいそうだからねと

水かえは　　はんぶんぐらいだ
いまは　　みどりいろの水になっている。
あたたかいと、水の上のほうに出てきて、
ブクブクと　　あぶくを出している。
えさがほしいと、いつているのかな。

びょうき

一九七一（昭和46）年度

ぼくは、三十日による、おでこがあつくな
ってねつがでてしまいました。おかあさんが
おいしやさんにでんわをしましたがいなかつ
たのであしたいくことにしてねました。あさ
になつたらひろこちゃんがきて「おばあちゃ
んがかぜをひいたのでおいしやさんにいくか
らいつしよにいきなさい。」といったから、ぼ
くはおばあちゃんといつしよにいきました。

おいしやさんは「水ぼうそうですよ。」といったのでぼくはびっくりしてしまいました。うちにかえっておかあさんに「ぼく水ぼうそうになっっちゃった。」といいました。おかあさんは「おなかをみせなさい。」といいました。みるとぶつぶつができていました。おかあさんに「ね正月ですね。」といわれました。それからぼくはいつも本をよんで学校のどくしよノートにつけていました。うちの本をよんでしまったのでおかあさんが本をかってきてくれるといいました。ぼくはもう一ど本をよんでいました。するとおかあさんがゲームをかってきてくれました。おにいちゃんとガードマンゲームをしてあそびました。でもおにいちゃんはすぐそとへあそびにいきます。ぼくもそとであそびたいとおもいました。ぼくはいつもいつもつまらないとおもいました。

一九七二（昭和47）年度

じてんしゃのこと

ぼくはじてんしゃが大すきだ。

でもおかあさんは、日よう日しかじてんしゃを
かしてくれない。どうしてかというところ、車
がとおっていてあぶないからだ。きのうもぼ
くはのらなかった。でもじてんしゃにのりた
くてのりたくてしようがない。おかあさんに
もう一どたのんでみた。それでもだめだとい
われてしまった。しようがないのであきらめ
ることにした。車がとおらないと、じてんし
やがのれるのにおもった。なぜ車がとおる
んだろうなあとおもった。

一九七三（昭和48）年度

いもうと

うちのいもうとは、いつも「ずる」をしま
す。わたしが、おふろにはいるとき、おかあ
さんがといれにはいます。そのつぎわたし
が、はいろうとすると「おねえちゃん、あた

まをピンでとめなさい」というのでわたしが
「けい子もとめなさい」といいます。でもけ
い子は「けい子、かみのけながくないよ」と
いったから、わたしは「まちがえちゃった」と
いいます。だから、わたしはいつも、あと
からになってしまいます。だから、わたしは
「けい子ずるいわよ」といいます。そうする
と、おばあちゃんが「朋子は、おねえさんだ
から、がまんするのよ」というので、いつも
がまんします。でも、いつももうとは、わ
たしがはらたつことをします。だから、わた
しがいつもとと、けんかをします。でも、お
かあさんはわたしを、おこります。わたしは
「いつもとのけい子が、わたしをおこらせる
からよ」というのですが、おかあさんは「お
ねえさんだからがまんして、けんかしないの
よ」というので、わたしはいつもくやしいの
です。わたしはがまんするのですが、いつも
とはいつもべんきようするときも、じやます
るのです。このまえも、わたしが「じやまし

ないで」といっても、いもうとはきかないで
じやまします。きのうはテレビを見てじやま
しました。いもうとが、ゆうことをきくとき
はかわいいけれど、わざとふざけたりすると、
わたしがおこる。そうすると、なく、そのと
きは、かわいくないとおもう。いもうとはい
つもテレビを見るときは「一ばんとった」と
いうので、わたしはいつも、うしろになって
しまいます。でも、きょうわたしが「ベッド
にのりたかったら、わたしのげんこうようし
をとって」というと、いもうとはいっしょう
けんめい、さがします。でも、すこしたって
さがしました。わたしは、そのいもうとが、
とつてもとつても、かわいいです。だから
「わたしがやる」て、いいなくなっちゃうの、
そうすると、いもうとがよろこんでベッドに
のるの、そのいもうとがすき、だいすきな
でもちよっぴり、えばりんぼうなの、でもい
もうとつてかわいいわ。いもうとは、うたが、
だいすきです。その中でも「もみじ」がすき

です。いつも『こぎつねこんこん、山の中、くさのみつぶして、おけしようしたり、もみじのかんざし、くさの、くし』てうたってるの、そのとき、かわいくって、かわいくって、たまらないのよ。

一九七四（昭和49）年度

おとうさん

まず、おとうさんの名前は、大橋よしおと
いいます。おとうさんはときどき大きいおな
らをします。そうするとおとうさんは、こう
いいます。

「こういちか、おかあさんか」

でも、おとうさんは、しごとをしていると
きはしんけんなかおです。そんなとき、ぼく
のおとうさんはすごいんだなあとおもいます。
日ようびはときどきあそんでくれます。デパ
ートにもつれていってくれます。そしてかえ
りに、やきにくやによって、やきにくをたべ
させてくれます。

一九七五（昭和50）年度

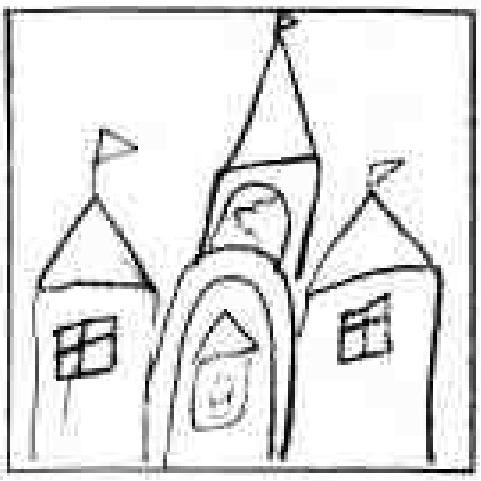
十一月十八日（火）

きょう、あべさんとあきちゃんとおたしであべさんのうちのまえにいたら、おまわりさんが、わたしたちに、しっけいをしてとおりました。どうしてでしょう。

一九七六（昭和51）年度

一月七日（金）

したのは、みずぼうそうになって、もうなおってきたから、みやたちといっしょにおにんぎょうであそびました。それでねつもさがったし、かおのぶつぶつもなおってきました。そしてはやく学校にいったみんなや先生と、べんきょうしたい。



一九七七（昭和52）年度

一月十八日（水）

「いただきます。」っていつてから、とろろに目をつけた。ぼくはとろろが大すき。とろろはどんぶりに一ぱいずつだった。ゆうちやんが一ぱいか三ぱいぐらいたべた。ぼくが一ぱいか三ぱいぐらいたべた。おなかがすいてたからすごいいきぶんだった。

一九七八（昭和53）年度

一月十三日（土）ゆき

きょう、あさ、ゆきがふっていました。そして、がつこのうていをいっかいまわってきて、ぼくは、あしのところがつめたくなりました。やねにもつもって、すなばもゆきでつもっていました。ゆきのおちかたは、まっすぐにおっこちます。ゆきのなまえは、はつゆきです。ゆきのいろは白です。ゆきがおちると、水に

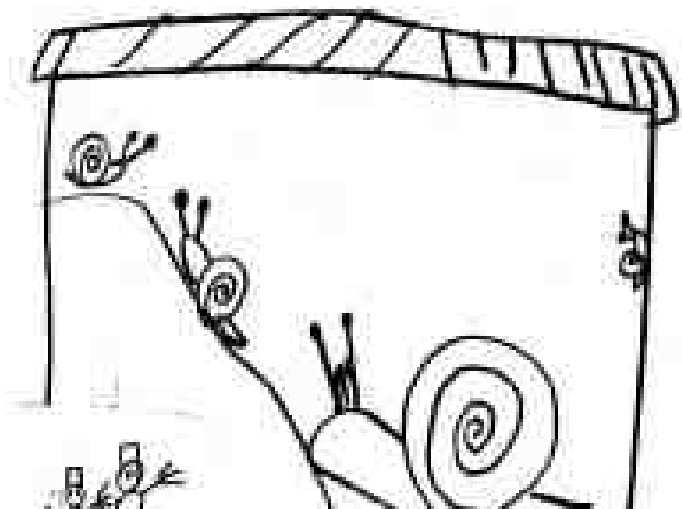
なあって、そして、二年生のかだんのところも白くなっていたいました。プールのわきのところもすごくくふっていました。すごいゆきです。うんていも、のぼりぼうもつもっていました。車のやねもまっ白だし、すごいゆきでした。木も土もまっ白でした。

「二月七日」

一九七九（昭和54）年度

わたしはよる「どらえもん」をみました。

そしたらおとうが「ぬりえをかって」とい
いました。わたしは「いいよ」といってぬり
えをかってやりました。
くれよんもかってあげま
した。もうとは、ぬり
えがおおると「ありがと
う」といいました。わた
しは、めちやくちやにぬ
ってもぜったいにおこり
ません。



二月十七日

一九八〇（昭和五五）年度

きょうみんなでゆきのふるこうていを見ました。空を見たら、天から、ワタが、ふるよ
うに見えました。ジャングルジムやのぼりぼ
うは、ゆきで、できたみたいに、見えました。
プールを見たら、ゆきのプールに、見えまし
た。そしてすなばを見たら、ゆきのすなばに
見えしました。きょうしつには行って、みんな
がゆきを足で、ふんでいったところが、ゆき
男のかたちに見えました。それでもっとよく
見たら、ゆきのせかいに見えました。

日記より

一九八一（昭和五六）年度

とおるくとぼくと、かにをつかまえにい
きました。あらかわへいったら、かにはいま
せんでした。

ぼくがあらかわのはしへいこうといいまし
た。そしたら、とおるくんもいこうといいまし

した。いったら、いたんですがとれませんでした。した。ぼくが「かえろう」といいました。はしの下には川がながれていました。ぼくはしばらくみていました。

一九八二（昭和五七）年度

二月十八日 金曜日 はれ

きのう、あじさいこうえんで、ゆきだるまをつくりました。そして、わたしのうちのまえにおきました。あさになって、きのうのゆきだるまを見ると、ちっちゃくなっていました。

一九八三（昭和五八）年度

十月二十一日（金）

さいきんおとうさんに、むかしのあそびをおしえてもらっています。きょうは、めんこをおしえてもらいました。おやと子どもをきめてとりあうあそびです。せんせいはやったことありますか。ぼくのおかあさんは、小さ

いときやったそうです。おもしろいあそびです。

二月一二日

一九八四（昭和59）年度

きょうは、はを一本ぬきました。とてもいたかったです。あおきくんのうちへ行って、あそんでかえってきたら、おとうさんが、「はがぬけて、みきおは、ビーバーみたいだな。」といいました。そして、「ビーバー。」とよばれました。

一月二十日（月）

一九八五（昭和60）年度

たこ上げたいかいがはじまってすぐに、たこを上げていたら、永山くんのたこ糸がからまってしまいました。永山くんがたこを下ろしてなおしました。それからちよつとたつてから、二年生のたことからまって先生がとってくれました。なんどもひっかかたけれ

どたのしかったです。

一九八六（昭和61）年度

一月二十九日（木）

学校のまわりみち

学校のまわりは、かわやさんがいっぱいなの、中いぼりどおりとかは、おみせがいっぱいでした。はなみずきどおりは、お花やさんとかじてん車やさんとかがあります。やっぱり学校のまわりは、ここらへんに学校がありますよ。というひょうしきがありました。中いぼりどおりは、しんごうがたくさんありました。学校のまわりは、しんごうがないです。学校のまわりも、しんごうがあるといいなどおもっています。

一九八七（昭和62）年度

八月十九日（木）

せんせいあのね、きょうおうちのにわにあるあさがおが、いっぱいさきました。あかや

しろやむらさきのはなで、とってもきれいでした。十こぐらいさきました。とってもきれいだっただので、おかあさんが「おしばなにしよう」といいました。おかあさんといっしょに、しんぶんしにはさんで、おしばなにしました。

一九八八（昭和63）年度

一月二十日（金）

土て下をあるいて、しらひげじんじやにいったら、かんばんがありました。

そのかんばんには、ラジオたいそうとかいてありました。ぼくは、ここでラジオたいそうをやるのかとおもいました。じんじやのちよつとよこを見てみると、なんだかちいさな木のみちがありました。ぼくは、そのみちをいきたかったけど、かえるじかんになりました。そのみちが、どこにつづくかこんどいきたいです。

一九八九（平成1）年度

八月十一日（金）

ぼくとおとうさんとおにいちゃん三人で、わか山のいなかにいきました。よる、車にのっていきました。あさになってからやっとなつきました。たまこおぼさんのうちで、よるまでファミコンをやりました。うちではかくされちゃってできないから、たのしかった。

一九九〇（平成2）年度

一月二十九日（火）

きのう、がっこうにいった、すいそうをみたら、でめきんがしんでいました。それで、土にうめてやりました。かわいそうでした。いえにかえったら、ねこのウルが、くしゃみやせきをして、かぜをひいていました。それで、おいしやさんにいきました。ウルはちゆうしやをされました。でも、へいきなかおをしていました。いえにかえってから、ぼく

は、ウルをだいてやりました。

一九九一（平成3）年度

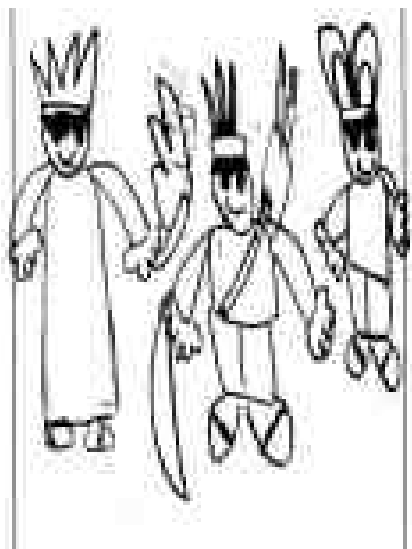
いちばんたのしかったこと

ねんどでいろんなものをつくるのが、とつてもたのしい。これからつくりたいのは、ひとだとか、どうぶつ。ねんどのピアノもつくりたい。ほんとうにおとがでるの、さやかかひいて、おかあさんにじまんするの。

一九九二（平成4）年度

十二月四日（金）

ぼくには、あしたたのしみに行っていることが二つあります。つぐみちゃんとなおみちゃん。のたんじょうかいにしようたいさされていることと、おかあさんにファミリーのロックマン5をかってもらうことです。早くあしたになればいいな。



一九九三（平成5）年度

おたんじょう日かい

一月十八日（火）

きょう、がくどうにいったら、とんじるをつくっていました。12・1・2月生まれの人はい、さいしよに、カードと手づくりのおべんとう入れぶくろをもらいました。つぎに、おかあさんがかいてくれたぼくの生まれたときのようにすを先生が読んでくれました。

それで、おとうさんが、こわいかおとゆつたから、ぼくはおこりました。つぎに、12・1・2月生まれの人すきなものや、いきたところとか、大きくなったらなにになるのかのクイズをしました。ぼくは、うみにいきたかったのです。それで、おやつはすきなケーキをえらんで、ぼくは、メロンにしました。ちよつとけつとうをしてから、4じにさつきとてったくんでかえりました。

一九九四（平成6）年度

ひでともくんとひろまさくんとたかゆき
くんとしんたろうくんであそんだこと

十一月十四日（月）はれ

ひでともくんとひろまさくんとしんたろう
くんとたかゆきくんであそびました。あそん
でいるときに、サッカーせんしゆのビスマル
クとあいました。

よるおとうさんにはなしたら、「ビスマル
クといつているけれど、ちがうがいこく人じ
やないの。」とっていました。ぼくは、ほん
もののビスマルクだとおもいます。

つぎの日

十一月十五日（火）はれ

ひでともくんとけんたくんとあつしくんと
さつきちゃんにあそびました。

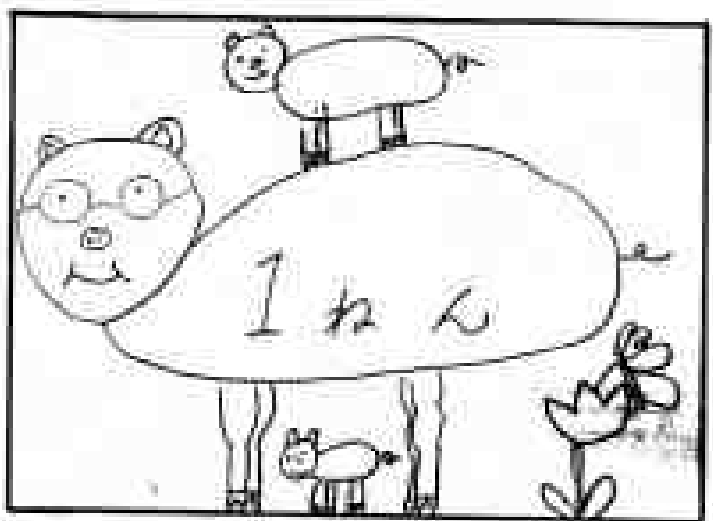
またおおつかのまえで、ちがうがいこく人
のビスマルクのおとうとあいました。でも、
こんどはみずいろのはちまきをしていたから、
ビスマルクのおとうとだと気がつきました。

でも、あさつてにさいんがもらえるから、
たのしみにしていきます。

なわとび

一九九五（平成7）年度

きのう、おかあさんのかいしやいにいって、
なわとびをやりました。こうさとびをやりました。
はじめが、五かいできました。なんか
いとべたかかみにかきました。三じから四じ
はんまでれんしゅうしました。だんだんじよ
うずになりました。一ばんよかつたときが、
二十かいでした。おかあ
さんが、すごいねとほめ
てくれました。



一九九六（平成8）年度

さんすうどりのひきざんとたしぎんを、
たいるをつかわなくても、こたえられるの。
さんすうができるようになってうれしい。

一九九七（平成9）年度

十一月二十日（木）

きのう、おとうさんとポケモンのえをかき
ました。かいたのは、ロコン、サトシ、コダ
ック、プリン、ゼニガメ、ピカチュウ、ピッ
ピ、マタツボミ、ニヤース。5こきのうかき
ました。きょうもポケモンのえを、よるかく
みたいです。サンドだけ、おとうさんはとつ
てもえがじょうずです。おとうさんにかいて
というとすぐにかいてくれます。おとうさん
が大すきです。

一九九八（平成10）年度

十二月四日（金）

きのう、チェリーがかぜだったのに、きのうなおりました。チェリーというのは、ぼくたちがかっているねこのことです。まえは、うんこがドロドロだったのに、なおったらかたいうんこになりました。うれしかったです。

かぜのときは、ぼくはしんぞうがとまりそうになりました。ほんとうによかったです。かみさまにかんしゃしています。チェリーとまたあそびます。

一九九九（平成11）年度

十一月二十五日

きょう、てんらんかいをみにいきました。じぶんのかびんがじょうずでした。あと、おさらがきれいだったです。二ねんせいのがぜんぶすごかったです。三ねんのおにいちやんのろうそくたてがすごくじょうずでした。四

ねんせいのおしばながきれいだったです。五
ねんせいのエレベーターとガンバツタワーが
たのしかったです。

二〇〇〇（平成12）年度

七月十四日（金）

わたしのおにちゃんは、学校からかえつ
てきたら、すぐしゆくだいをしてえらいとお
もいます。これからも、もっともつとじよう
ずになつてもらいたいです。プリントもまい
日やつて、えらいとおもいました。

「じょうずだな。」

と、わたしはいいました。わたしのおにち
ゃんは、
「これからも、がんばるぞ。」
といいました。

二〇〇一（平成13）年度

九月七日（金）

きねがわのまちをたんけんしました。かわ

やさんが九けんありました。たいこや、かわや、はじめてみたものがありました。たいこはとてもおおきくて、なにでまわっているのかわかりませんでした。でも、もしかしたら、たいこはおおきいからうごかしているのはちからもちのおじさんじゃないかとおもいます。ぶたのかわはみずいろでした。おじさんたちはいっしょうけんめいはたらいていて、みんなしんせつでよかったです。

二〇〇二（平成14）年度

フィリピンにいきたい

このまえ、フィリピンのおばあちゃんがそびにきてくれました。わたしに、おみやげをもつてきてくれました。ようせいのおにんぎょうと、かみかざりと、むしのずかんをもらいました。よかったです。そして、おばあちゃんにおまつりをみせてあげました。わたしは、おみこしをかついだり、おかしをもらったりしました。おばあち

やんも、いっしょにあるいてくれました。
こんどは、わたしがフィリピンにいきたい
です。

